

埼玉県立大宮工業高等学校創立 100 周年記念事業募金趣意書

謹啓 皆様におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、本校は 1925 年（大正 14 年）5 月、鉄道の町として発展を続ける大宮町により鉄道省東京鉄道局大宮工場技工見習教習所内に大宮町立工業学校として開校され、1963 年（昭和 38 年）に大宮市から埼玉県に移管された後、校名を現在の埼玉県立大宮工業高等学校に改称されました。その後、数次にわたる校舎の移転や全定併設、学科改編等を経て、1982 年（昭和 57 年）に本郷新校舎に全面移転し、この間、社会へと巣立った卒業生は 2 万余名となり、広く各分野でご活躍されています。

「至誠一貫 質実剛健」の校訓のもと、工業分野の専門教育に尽力してきた本校は、来る 2025 年（令和 7 年）に創立 100 周年を迎えます。この記念すべき節目に際し、大宮工業会、PTA、学校の三者が連携し「埼玉県立大宮工業高等学校創立 100 周年記念事業実行委員会」を結成し、記念事業を推進することとなりました。事業内容は輝かしい歴史と伝統を継承しさらなる飛躍発展を期すべく、記念館の改修や周辺環境の整備をはじめとする教育環境の整備を行い、様々な交流を生み出す拠点づくりと学業、部活動の充実を図ります。また、2025 年度（令和 7 年度）に実施する記念式典の開催・記念誌の刊行、記念行事等を計画しています。

この記念事業の実現には同窓生の皆様をはじめ、関係各位の皆様からのご支援に頼らざるを得ません。ついては、何かと出費でご多端の折、誠に恐縮でございますが、ご賛助についてご理解をお願い申し上げます。

翌年の 2026 年（令和 8 年度）には、本校は県立浦和工業高等学校と統合し、県内初の情報学科を備えた工業高校として新たに歩み出すこととなります。この度の 100 周年事業を契機として、本県の工業教育を牽引し産業人材の育成により一層邁進してまいりますので、募金にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

令和 6 年 4 月吉日

埼玉県立大宮工業高等学校創立 100 周年記念事業実行委員会

実行委員長 野澤孝道（大宮工業会会長）

事務局長 渡辺 勉（大宮工業会副会長）

副実行委員長 佐藤崇史（大宮工業会副会長）

副実行委員長 竹原司郎（全日制 PTA 会長）

副実行委員長 魚住佳代（全日制教育後援会会長）

副実行委員長 五明美香（定時制 PTA・教育振興会会長）

副実行委員長 山崎正義（校長）

監事 田邊 健治（大宮工業会副会長）

監事 齋藤哲雄（大宮工業会副会長）

監事 辻本秀樹（副校長）